

成分名	ステアリン酸マグネシウム
英 名	Magnesium Stearate
CAS No.	557-04-0
収載公定書	日局 EP NF
A TOXNET DATABASE への リンク	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/557-04-0

投与経路	用途
経口投与	安定(化)剤、滑沢剤、基剤、光沢化剤、コーティング剤、賦形剤、分散剤、防湿剤、流動化剤
一般外用剤	
経皮	
舌下適用	
直腸腔尿道適用	
耳鼻科用剤	
歯科外用及び口中用	
その他の外用	
吸入剤	
殺虫剤	

1. 単回投与毒性

該当文献なし

2. 反復投与毒性

2-1 ラット

一群雌雄各 20 匹のラットに、半合成飼料に 0、5、10 又は 20%混入したステアリン酸マグネシウムを 3 ヶ月間与えた。体重増加の抑制が 20%投与群の雄で見られ、更に同群では尿結石が雄で 8 例、雌で 7 例に認められた。肝の比体重減少が 10 及び 20%群の雄に見られ、20%群では肝の鉄含量も増えた。腎結石は 20%群の雌では減少した。本実験で無作用量は食餌中 5%と推定され、これは 1 日用量として 2500mg/kg に相当する。¹⁾ (Sondergaard et al., 1980)

以下については該当文献なし

3. 遺伝毒性

4. 癌原性

5. 生殖発生毒性

6. 局所刺激性

7. その他の毒性

8. ヒトにおける知見

引用文献

- 1) Sondergaard D, Meyer O, Wurtzen G. Magnesium stearate given perorally to rats. A short term study. Toxicology. 1980; 17: 51-5

PEC JAPAN SAFETY DATA